

飯伊地区 産業経済動向

No.516 2022/3
(4.4.25発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http://www.iidashinkin.co.jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標	実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,451 枚	13.9 %	△ 18.0 %	△ 25.9 %
	金額	3,850,529 千円	46.2 %	△ 27.9 %	△ 35.9 %
うち不渡発生状況	枚数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)	(前々年同月 0 枚)
	金額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)	(前々年同月 0 千円)
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	7 件	(前月 3 件)	(前年同月 11 件)	(前々年同月 3 件)
	飯伊	1 件	(前月 0 件)	(前年同月 1 件)	(前々年同月 0 件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(2月)		41 戸	△ 4.7 %	△ 4.7 %	7.9 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(2月)		1.45 倍	(前月 1.54 倍)	(前年同月 1.22 倍)	(前々年同月 1.39 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,999 台	68.3 %	△ 22.6 %	△ 17.5 %
	中古車	887 台	41.5 %	△ 16.2 %	△ 3.0 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (2月)	新車	3,689 台	14.6 %	△ 15.1 %	△ 14.6 %
	中古車	817 台	4.2 %	△ 7.8 %	2.1 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	90,421 台	30.2 %	△ 7.3 %	△ 7.3 %
	出	91,317 台	31.0 %	△ 7.8 %	△ 7.6 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	54,248 台	34.0 %	△ 19.3 %	△ 17.2 %
	出	51,875 台	33.7 %	△ 20.1 %	△ 18.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	11,220 台	9.8 %	4.9 %	△ 8.4 %
	出	11,385 台	12.0 %	6.4 %	△ 7.5 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	38,793 台	30.6 %	6.3 %	10.3 %
	出	38,265 台	31.6 %	4.8 %	6.4 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	32,285 台	33.6 %	- %	- %
	出	31,863 台	32.7 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		157 件	41.4 %	△ 69.0 %	△ 31.4 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		3 件	(前月 1 件)	(前年同月 3 件)	(前々年同月 2 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	10,825 人	104.5 %	56.3 %	△ 4.1 %
	飯田～名古屋	9,068 人	75.0 %	30.6 %	4.5 %
	飯田～長野	3,132 人	54.3 %	△ 20.8 %	△ 30.0 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	7,866 人	79.0 %	113.8 %	△ 16.4 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,065 人	31.4 %	△ 10.4 %	△ 2.9 %
	右回り	2,976 人	39.3 %	△ 5.3 %	3.7 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www.iidashinkin.co.jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIはプラス8.7。コロナ禍は長期化も、目下は景況感の悪化につながっていない様子。

当月の製造業の業況判断指数（DI）は8.7で、前月から8.7ポイント上昇。一昨年4月に底を打った景況DIは、昨年来概ねプラス領域を維持しており、長期化するコロナ禍も、目下は景況感の悪化につながっていない様子。一方、原材料高、半導体不足、円安等の、直接、間接の影響もあり、先行きの見通しの悪さ、不透明感を指摘する声は多い。ロシア、ウクライナ情勢の影響は、懸念する声は少なくないものの、目下は影響がないという。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

☑受注、販売… 受注は前月比横ばい～やや増加。販売の前月比は、業者により増減分かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。

先行きに関し、世界情勢、人手不足、原材料高など不透明感は強いものの、当座は大きな動きは見込まれていない様子。

☑製品在庫…やや増加との声が多い。

[企業からのコメント]

- ・新型コロナウイルスの世界経済への影響が長期的に懸念されているが、景況は少しずつ回復してきている。しかしここに来て、半導体不足、価格上昇、原油高、ウクライナ情勢など、先行きはさらに不透明になってきている。
- ・建機や一部の産業機械で、北米など海外の勢いが続いている。
- ・円安で海外からの購入品が割高となり、採算が合わない。

●半導体、液晶製造装置向け機械部品

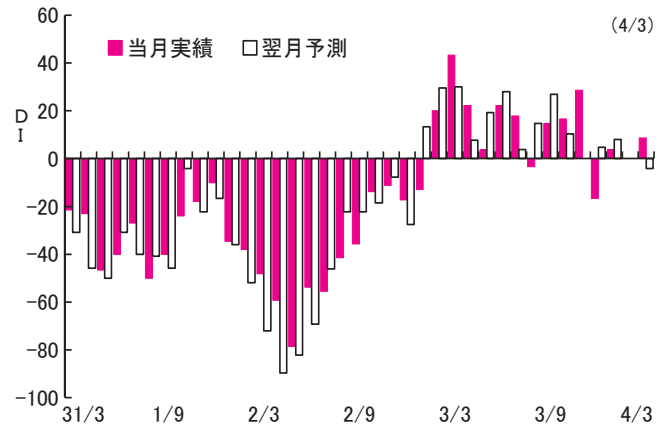
☑受注、販売… 年度末の時期的な影響もあり、受注、販売とも業者により増減分かれる。景況感、一部に悪化との声もあるが、概ね堅調に推移。

☑原材料価格… 依然上昇基調。ロシア、ウクライナ情勢に関し、希少ガスなどで調達への影響を懸念する声。

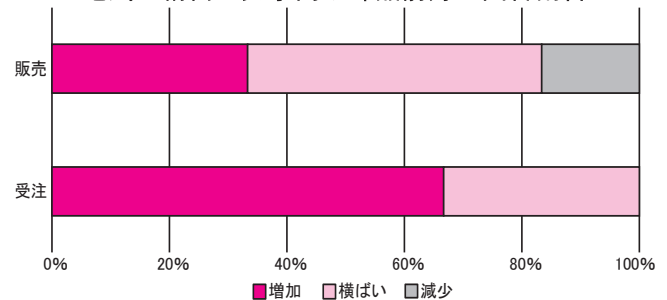
[企業からのコメント]

- ・「一部の客先で部材調達難が続いており、生産量に対して出荷量が少ない状態が継続」「ジャストインタイム方式から、ある程度の在庫を持つ方針に切り替えている客先も」「投資意欲に応えるべくフル生産している好調な客先もある」「メイン顧客の半導体不足による生産調整中で受注減少。多様な客先を持つことの重要性を感じる」
- ・世界的業界団体の前工程製造装置投資額予測が上方修正されるなど世界中の生産能力が向上してきており、新規製造装置、スペアパーツ、更新需要など投資は増えてくるだろう。一方で、原材料高騰、人員不足、納入リードタイムの延伸などサプライヤーにとって逆風もあり、繁忙で増収だが減益の傾向がある。
- ・「当月が期末で、今後ゴールデンウィークもあり、当面生産が乱高下しそう」「今年後半に伸びる予想があり、在庫積み増し」
- ・「原材料は毎月何らかの値上げ情報がある。高止まりならまだよい方で、値上げが続いており厳しい。新規品ならば売値に顧客の理解も得やすいが、既存品は価格転嫁が困難」「生産は好調だが、原材料費の高騰は吸収できない。客先との交渉も難航」

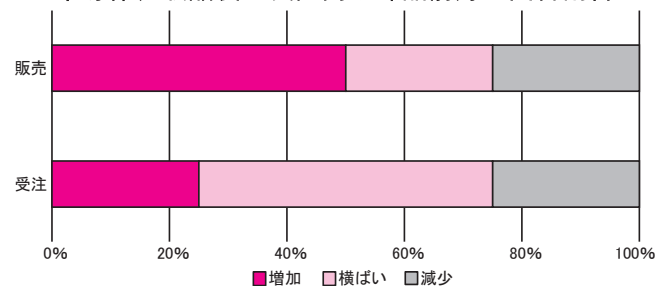
飯伊地区景況DI（製造業）



電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



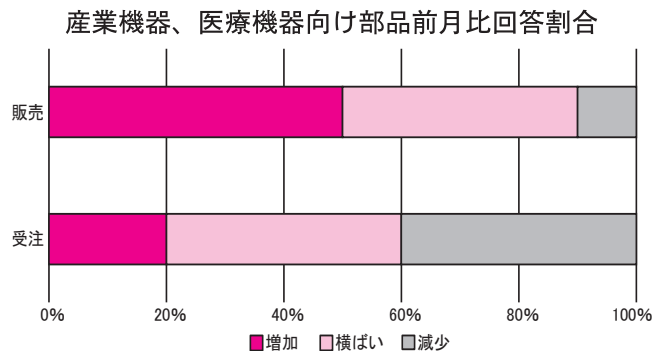
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

受注、販売… 受注の前月比は、一部にやや増加との声があるものの、横ばいなしやや減少との声が多い。販売の前月比は、増加なし横ばいとの声が多数。

景況感…………… 景況感は、一部に動きはみられるものの、大きな動きはないとする声が多い。先行きの見方は分かれるが、生産の減少を見込む声も複数聞かれた。



[企業からのコメント]

- ・「客先で電子部品の供給に目途が立ち、今後増産の動きが明確になってきたものがある」「中国向けで、依然受注は好調。ただ秋口以降鈍化するとの情報も」「フォアキャスト情報では、当面現状維持も、夏以降拡大基調という」「取引先によりムラがある」「5月以降分の発注増加」「売上が一時的に増加したが、受注がやや減っていることもあり、先行きは悪くなりそう」「モノの流れが悪く、定時間内で空き時間が生じることも」
- ・アルミは4月から値上がり。鉄もジリジリ上げている。
- ・「短期間である程度採用したが、一部にまだ不足がある。リスクは感じるが採用を進める」「人員募集中。集まるまで続ける」
- ・「波があってやりづらいとの声は多い」「原材料、エネルギー等値上がりが激しく収益悪化。今後の見通しが立たない中、経営はやりにくい」

●漬物、半生菓子、菓子原料等

売 上……………前月比はやや増加。一部に前年比はやや減少との声。

原材料価格…上昇傾向を伝える声が多数。

[企業からのコメント]

- ・蔓延防止措置解除で、以前より業務用に動きが出てきた。ただ、続いてくれるかどうか未定数。
- ・原材料について、相変わらず値上げアナウンスが多い。今後ウクライナ情勢によるさらなる値上げがないか懸念している。

●水引、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

売 上……………前月比は概ね横ばい。

原材料価格…上昇との声が多い。

[企業からのコメント]

- ・「年初からの材料の値上がりは4月に入っても続き、製品の値上げに忙殺。寸前尺魔とはこのことか」「中国生産について、コロナ感染の影響は心配。また、原材料費、人件費が大幅に上がっている。その上円安が止まらず、輸入業者にはダブルパンチ」
- ・コロナ禍のもたらす変化を正しく認識して、業界の発展に尽くしていくことが重要と考えている。

●上記以外の製造業

建築用金属製品…販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。景況感に大きな変化は見られない。

自動車向け部品…販売は前月比、前年比ともやや増加も、景況感に動きは見られない。

[企業からのコメント]

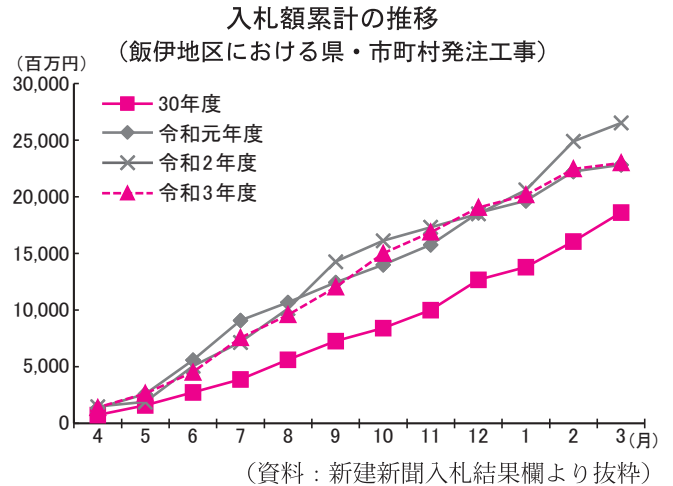
- ・建築関連は、計画の先送り、納期後ずれが続き、引き続き低調。同業も苦戦模様。原材料も4月出荷分から平均10%上昇している。

建設業

官公需

概況 令和3年度の公共工事入札金額は、令和2年度より減少も一昨年並み
4月以降はさらなる資材値上がりが見込まれる状況

- ☑公共工事入札額…当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約5.3億円（4月15日調査時点）。年度単位で見ると、令和2年度からは13%の減少も、令和元年度とはほぼ同水準となった。
- ☑受注残高……業者により増減分かれるが、年度末に向けて進捗が進み、減少との声が多い。
- ☑景況感……概ね横ばいとの声が多く、先行きについても大きな変化は見込まれないという。
- ☑原材料価格……かねてからの上昇に加え、4月にさらなる値上げが見込まれるとの声。



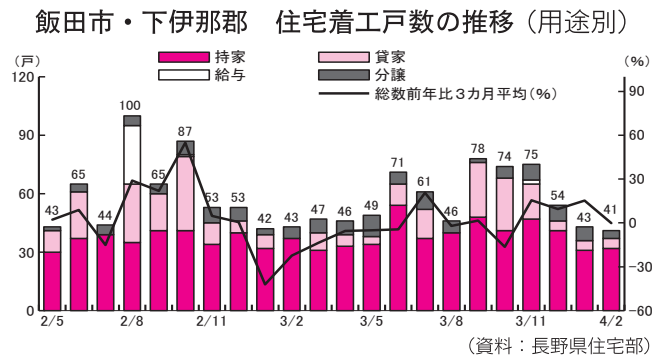
[企業からのコメント]

- ・「年度末工期の現場、災害復旧工事、リニア関連工事等で忙しく、人手不足」「令和3年分の残工事が完成する4月末までの工事量は十分ある。それ以降は新年度の発注待ち」「年度末切替で、忙しいのも少し緩和されるのではないか」
- ・「各種資材の値上げが継続。設計単価の変更や納期対応に対処してほしい」「燃料高騰で建設資材が上昇」「4月から骨材、アスファルト、二次製品、生コン、建築用資材等、材料となる物のほとんどが値上げ」

民需

概況 令和4年2月の住宅着工戸数は41戸で前年比から微減。貸家は低調、持家住宅が下支え

- ☑住宅着工戸数…当地区の2月の住宅着工戸数は41戸。前月比5%減、前年比も5%減。12月～2月は前年とほぼ同じ戸数となっており、次月以降も注視したい。
- ☑景況感……やや悪化～横ばい。改修工事など小型の仕事はあるが、大型工事は少ないとの声。
- ☑原材料価格……全ての事業者で上昇との声。次月以降も上昇を見込むという。



[企業からのコメント]

- ・建材などの値段は上がる一方で、しかも納期が定かでないものもある。リフォームもすぐに対応できないことがある。
- ・住宅はほとんどの材料の値段が上がっているが、特に大きいのが木材で、利益を圧迫している。地元顧客の収入も上がらない中、今後は金利上昇の恐れもあり、住宅業界の先行きに不安を感じる。
- ・民間工事や住宅着工戸数等の減少もあり、今後は職人等の不足も何とかするのではないかと。

建設資材等

概況 3月の生コン、骨材の売上は前月比、前年比ともに増加

- ☑生コン…売上の前月比は業者により増減分かれる。前年比では全ての業者で増加という。
- ☑骨材…売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、護岸工事、保育園・工場建築工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の15%強。
- ・昨年と比べて販売数量は増えている。リニアや三遠南信等の工事がある。
- ・長野県平均と比較して当地域の生コン出荷量は好調。リニア工事は中々本格化しないが、他地域より条件はいいと思われる。
- ・4月以降生コン単価が上がり、発注者側に上がった単価がいつ反映されるのか、待ち遠しいところ。
- ・地域的に人口減少が大きく、若い人がいないのが問題。土木関係に就職する人も少ない。

商業・サービス業

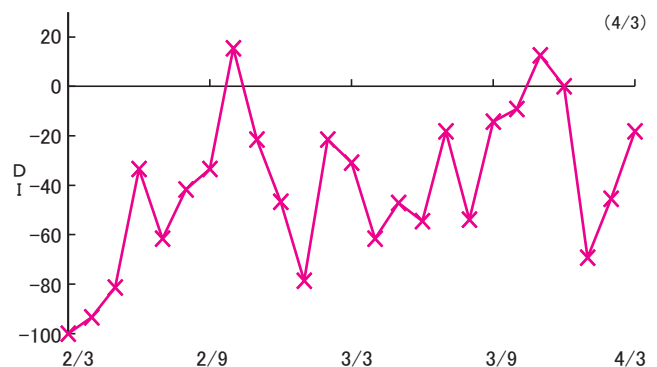
概況 景況感は宿泊業などでやや好転、原材料高騰による影響は販売価格への波及も

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）は、マイナス18.2で、前月から27.3ポイント上昇。

まん延防止等重点措置が解除となり、宿泊業などではやや好転との声が複数寄せられた。一方、飲食業や運輸業では感染者数の高止まりによる影響が継続しているとの声が多い。

原油価格の高騰やウクライナ危機により、ほぼ全ての品目での仕入価格上昇が続く中、4月以降のさらなる値上がりは確実な情勢で、在庫の積み増しや販売価格の見直しを進めるといった声が、幅広い業種から聞かれた。

商業・サービスDI



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比減少～やや減少、前年比でもやや減少との声

☑売上…売上は前月比、前年比とも業者により増減分かれる

☑仕入単価…前月比では業者により増減分かれるが、増加の方が多い。景況感はやや悪化～横ばいという。

[企業からのコメント]

- ・「昨年は大幅に売上が落ち込んだが、今年は状況が少し好転」「現状では、特に大きな変化はない」
- ・仕入価格が上昇してきており、価格上昇による消費への影響が心配である。

●卸売業 概況 景況感は概ね横ばい。仕入価格の上昇を見据え在庫を増やすとの声も

☑売上…2月の営業日数が少なかった分、前月比では全ての事業者で増加という。前年比でもやや増加との声が多く聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・野菜は、この冬の寒さから全般に生育が悪く、またコロナの影響もあり需要も少なめ。一方、北海道の玉葱は生育不良でますます価格高騰した。野菜全体では前年比入荷減、価格高で、販売額は前年並みも、平年よりは少ない。果実は、輸入果実については輸送面で不安定となり入荷減、これにより国産柑橘は順調、苺も入荷量増。果実全体では入荷量やや増加、価格やや上昇となった。
- ・公共施設の物件があり、LED照明・空調設備・制御盤等が伸びた。また、工場関係を中心として企業活動が徐々に活発化し、設備投資が進み始め受注増加につながった。しかしながら、原材料高騰、ウクライナ情勢悪化により、仕入面が非常に不安定。供給不足により、仕入価格上昇または製品欠品等があり、代替品の提供や見積もりの取り直しなどのコストが増え、利益に対してのダメージが大きい。
- ・4月から、仕入各社は一斉値上げを行う予定で、3月中に通常より多い在庫確保を行っている。企業努力では賄いきれない値上げ幅であるため、価格転嫁できるように努力していきたい。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 コロナによる影響は継続も、宿泊業では景況感やや好転の声も

☑売上…売上は、前月比では増加との声が多い。前年比では業者により増減分かれる。宿泊業では前月の反動とイベント開催の影響などで、景況感がやや好転との声も。

[企業からのコメント]

- ・3月は予約の3分の2がキャンセル又はテイクアウト弁当に変更になった。3～4月の予約は少し入ってきているが、歓送迎会などのイベントはあまりない状況が続く。
- ・まん延防止等重点措置の終了を待って、常連が来店してくれる。プレミアム食事券で新規の来客も増えた。
- ・飲食業界全体の体力がかなり落ちている。感染者等の発表の基準を変えない限り、葉ができるまでは回復は見込めないかも。
- ・「県民割などにより利用客がやや増加。まん延防止等重点措置も解除され、やや動きが出た」「まん延防止等重点措置が3月前半に解除され、3月後半になって動きが出た。お練り祭りに続いて、善光寺御開帳も開催されるので、今後の観光需要の伸びに期待したい」「花桃の季節、ゴールデンウィーク等で動きが出ることに期待」
- ・まん延防止等重点措置の解除後も、感染者数が減らず飲食店利用が自粛傾向にあり、タクシー利用も増えない。昼間の交通弱者の利用も、感染者数の上昇とともに落ち込んできている。
- ・「魚代が上がり、ついにマグロが上がりだした。部分的に値上げする」「原材料費高騰の影響が出始めた。また光熱費の価格高騰の影響も今後出てくる」「全ての品目の値上がりにより大変。利益が大きく圧迫されているが、販売料金は上げにくい」「LPG価格は前年比2割弱上昇、ガソリン、軽油に関してはそれ以上の値上がり」
- ・雇用調整助成金や各種支援金には助けられたが、国や自治体の財政的なこともあり、このような支援はいつまでも続かない。まずは観光客に来てもらえる魅力ある地域や施設にしていこう、努力していかなければならないと感じている。
- ・ウィズコロナで経済も回していかなければ、総倒れになってしまう可能性もある。

リニア岐阜県駅地域の現況

～リニア駅予定地の外形が徐々に姿を現わす～

コロナ禍で暫く訪問を手控えていたが、久しぶりにリニア岐阜県駅予定地を訪れた。リニア駅予定地付近は「工事の槌音」が響く現場となっていた。

1. 様変わりした中津川市千旦林地区

いつものように、国道19号（257号と重複区間）の中央道中津川インターから名古屋寄り最初の信号交差点を右折（旧中山道）すると、JR美乃坂本駅へ一本道で行くことができる。美乃坂本駅の前を通り過ぎ右折（県道410号）して、中央本線の踏切を渡ると、リニア岐阜県駅の工事現場となっていた。この辺りは県道沿いに10軒余の住宅があり、その奥は多くが田圃・畑となっているが、県道東側はフェンスで囲まれ、リニア駅建設現場となっていた。

報道によると、昨年11月10日岐阜県駅工事の起工式・安全祈願祭が予定されていたが、リニア瀬戸トンネル斜坑の落盤事故発生により延期された。その後の起工式執行は明らかでないが工事はこの様に進捗している。フェンスの中を窺うことはできないが、基礎部分の土工事が中心とみられる。

冒頭写真の開削（掘割）部分にはリニア本線と車両基地への引き込み線が設置され、それが手前方面へ伸びてくるイメージとなる。右写真（上）の右手一段高いところにある民家の辺りがちょうど開削部分となり、移転されて工事現場となった。以前は静かな田園地帯の趣のある一帯であったが、フェンスでいくつかの区画割りができ、そのフェンスに挟まれて残されている既存道路（生活道路）が辛うじて通行できる慌ただしい有様となっている。

開削工事と併せ高架橋の基礎工事も進められているようにみえた。県道410号線の西側は住居の多い地区で、住宅が解体されて基礎のみとなっているところもあるが、今のところ大規模な工事は始まっていない。

2. 車両基地予定地へ

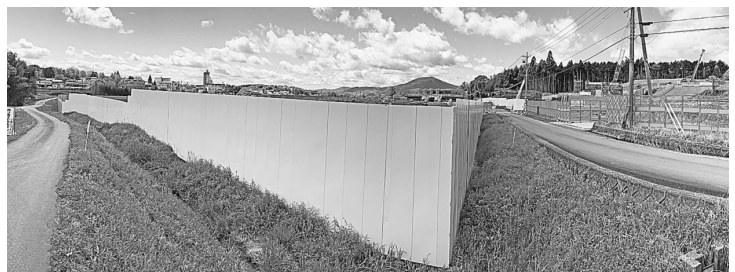
リニア駅建設現場から少し離れ、右上写真の一段高いところへ上がって中津川市中心部へ向かう方向に中部車両基地の工事現場がある。フェンスに沿って車で走ると1km近くあろうかという広大な敷地（約60ha）。

敷地は原野もしくは耕作放棄地かという印象であったが、地図によるとこの辺りには「農業試験場」の表示がある。ここは岐阜県中山間地農業研究所（本所：岐阜県飛騨市）の中津川支所が置かれていたが、リニア車両基地の設置に伴い、市内福岡に2018年3月に移転・開所した。圃場だけで約15haの規模であるという（同所HP）。

車両基地現場は、昨年10月15日から造成工事が開始され、土工事が進められている。



JR美乃坂本駅方面から見た、岐阜県駅予定地



岐阜県駅予定地（中津川市千旦林地区）

（上）平成29（2017）年7月

（下）令和4（2022）年4月



車両基地工事現場

3. 岐阜県内のリニア関連事業

岐阜県駅周辺のリニア・同関連事業の概要は下概略図の通りとなっている。

■駅周辺整備（市）

中津川市の事業で、土地区画整理の手法によることとなっている。約21.8haの規模。本年1月21日安全祈願祭が挙行された。事業スケジュールによると、公園、広場等公共施設の工事は令和5年開始の予定。一部街区道路等の整備が進められ、以前通った道路が通行できなくなっていた。

■濃飛横断自動車道路（県）

岐阜県はリニア駅地域と県内、特に飛騨地方とのアクセス確保が重要課題と認識して、高規格道路の整備が計画される。中央自動車道から分岐し、リニア駅周辺でインターチェンジにより駅方面からの交通と結節、木曾川左岸までのルートが発表されている。今年度から工事が本格化すると見込まれる。

■東濃東部都市間連絡道路他（市）

リニア駅周辺から東濃地域の中津川市中心部や恵那市方面との円滑な通行を図り、現道改良や新設道路を設置する。訪問時には同道路の一部区間の工事が始まっており、土工事がある程度進んで形が見えている箇所があった。

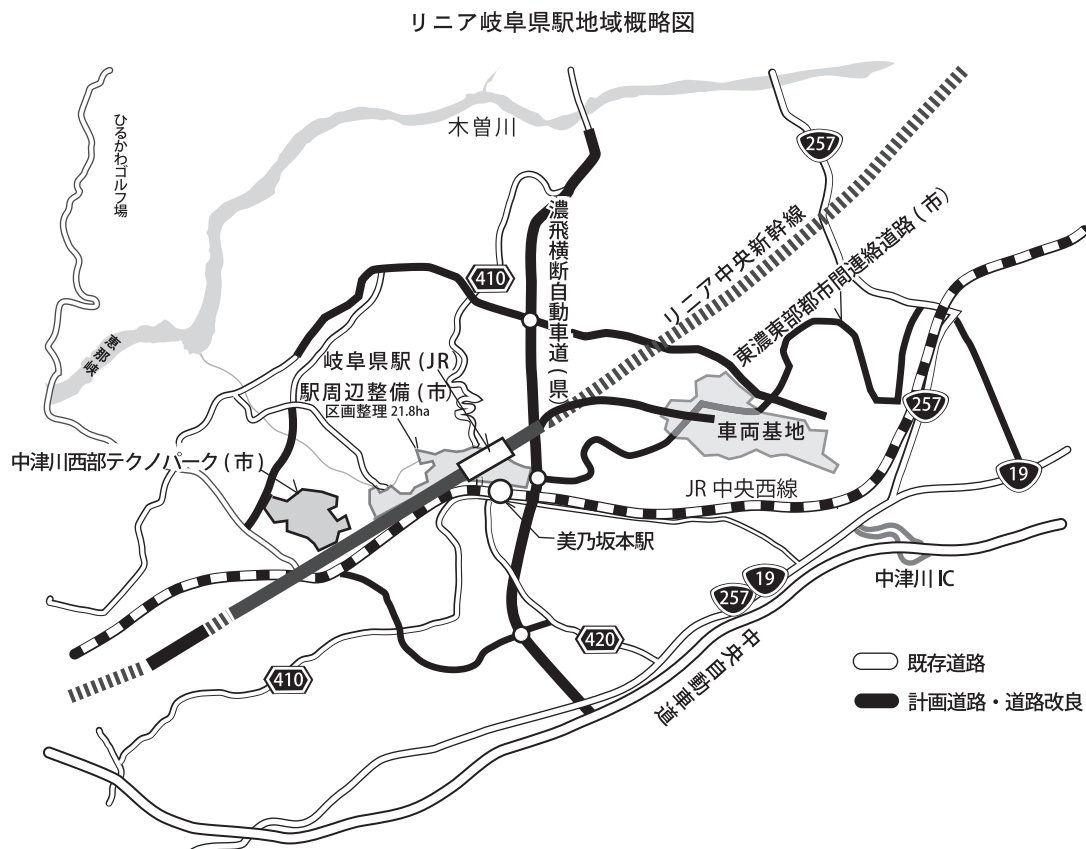
■中津川西部テクノパーク（市）

駅周辺に先端産業の企業集積を図るための用地造成を計画。工事スケジュールでは令和7年度以降の実施とされている。

4. 終わりに

以上、駆け足で現場を訪問した。現地で事業者等から説明を受けてはいないので、あくまでも現場を見た印象で記していることをお断りしておきたい。

リニア長野県駅は本年度、駅予定地域の測量が行われることが発表され、工事の開始に向け徐々に動きが出てきた感がある。当地域は岐阜県駅地域と比べ、移転すべき家屋が圧倒的に多く、移転対象者の皆さまや関係機関の皆さまのご苦労はいかばかりかと推察申し上げる。当地域で駅工事が始まったときは、このようになるというのを実感することができた。長野県駅予定地は、住居・事業所とも密集する区域での工事となるため、地域の理解が一層重要になると思われた。



JR東海、岐阜県、中津川市の説明資料（中津川市HP）をもとに、リニア・三遠南信対策室で作成
（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数							
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野		伊那・駒ヶ根～新宿	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成28年	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
3	686	△ 11.0	90,496	△ 11.6	77,895	△ 9.2	39,668	△ 19.1	53,800	△ 24.6
令和3.1	42	△ 60.7	3,607	△ 86.6	3,889	△ 78.3	2,914	△ 63.4	2,323	△ 89.0
2	43	13.2	4,209	△ 79.8	3,848	△ 74.5	2,949	△ 60.4	2,392	△ 85.9
3	47	6.8	6,925	△ 38.6	6,945	△ 19.9	3,953	△ 11.6	3,680	△ 60.9
4	46	△ 36.1	5,695	314.8	5,607	168.7	3,264	53.8	3,313	125.1
5	49	14.0	5,085	168.6	4,656	223.6	2,967	64.4	2,632	—
6	71	9.2	5,256	5.7	4,617	10.1	3,220	△ 7.1	2,907	210.6
7	61	38.6	7,226	56.5	6,906	20.4	3,298	△ 18.5	4,194	67.3
8	46	△ 54.0	7,014	59.4	6,872	65.6	2,543	△ 16.3	4,219	30.8
9	78	20.0	6,230	4.7	4,937	△ 16.3	2,852	△ 19.9	4,242	18.3
10	74	△ 14.9	10,302	40.8	8,133	10.9	3,919	△ 7.4	6,863	43.6
11	75	41.5	12,979	77.8	10,125	36.0	3,905	3.3	7,208	75.8
12	54	1.9	15,968	183.7	11,360	95.4	3,884	24.4	9,827	200.2
令和4.1	43	2.4	11,039	206.0	7,805	100.7	2,856	△ 2.0	7,544	224.8
2	41	△ 4.7	5,294	25.8	5,183	34.7	2,030	△ 31.2	4,395	83.7
3	—	—	10,825	56.3	9,068	30.6	3,132	△ 20.8	7,866	113.8
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社							

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率		
	新車		中古車		長野県	飯田管内	
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成28年	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.70	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	1.60	—	—
2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	1.16	—	—
3	24,672	△ 5.1	8,716	0.5	1.33	—	—
令和3.1	2,062	2.8	523	3.8	1.18	1.24	1.40
2	2,192	△ 1.5	665	△ 3.9	1.21	1.22	1.41
3	3,873	6.6	1,059	15.9	1.25	1.23	1.40
4	1,891	19.2	834	3.5	1.29	1.19	1.38
5	1,581	15.6	648	26.6	1.32	1.18	1.35
6	1,929	△ 1.3	780	1.8	1.36	1.31	1.47
7	2,040	△ 7.4	759	△ 13.8	1.40	1.41	1.60
8	1,820	3.1	634	△ 4.5	1.39	1.41	1.59
9	1,737	△ 36.7	724	△ 5.6	1.38	1.38	1.56
10	1,629	△ 26.4	730	△ 7.2	1.40	1.50	1.62
11	1,978	△ 9.0	693	1.9	1.40	1.48	1.67
12	1,940	△ 8.8	667	△ 4.9	1.41	1.54	1.78
令和4.1	1,764	△ 14.5	524	0.2	1.40	1.54	1.78
2	1,782	△ 18.7	627	△ 5.7	1.44	1.45	1.64
3	2,999	△ 22.6	887	△ 16.2	1.45	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

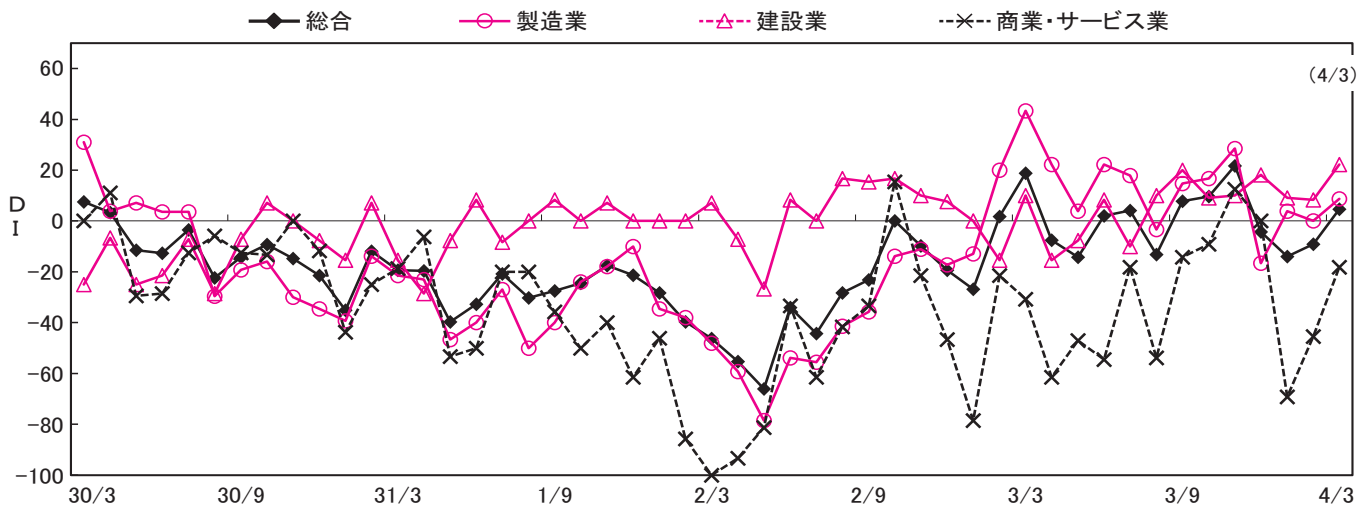
※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成28年	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
2	32,204	47,885,737	80	8	3,707	101.2
3	29,079	41,505,718	66	9	1,799	△ 51.5
令和3.1	2,219	3,207,004	3	0	110	△ 15.4
2	2,377	3,521,051	9	1	178	20.3
3	2,989	5,343,135	11	1	506	121.0
4	2,459	3,407,990	3	0	65	△ 74.9
5	2,389	3,635,849	4	1	84	△ 84.6
6	2,513	4,200,108	5	1	102	△ 83.8
7	2,156	2,697,156	6	1	95	△ 81.7
8	2,688	3,819,754	1	0	115	△ 66.5
9	2,280	2,770,797	4	1	140	△ 40.4
10	2,056	2,555,040	10	1	119	△ 44.1
11	2,511	3,039,284	6	1	105	△ 48.3
12	2,442	3,308,550	4	1	180	△ 28.0
令和4.1	2,351	3,586,789	5	0	79	△ 28.2
2	2,151	2,633,930	3	0	111	△ 37.6
3	2,451	3,850,529	7	1	157	△ 69.0
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)									
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C		座光寺 S I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
台	%	台	%	台	%	台	%	台	%	
平成28年	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4	—	—
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4	—	—
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1	—	—
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2	—	—
2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
3	2,069,577	△ 5.6	1,334,516	△ 13.3	328,892	△ 0.4	896,142	5.5	—	—
令和3.1	146,814	△ 28.8	102,471	△ 24.0	17,309	△ 28.1	49,999	△ 29.6	—	—
2	152,693	△ 20.3	107,189	△ 16.5	17,504	△ 29.9	54,490	△ 20.0	—	—
3	196,614	0.1	132,148	2.2	21,394	△ 12.9	73,022	2.7	7,353	—
4	165,491	21.5	97,922	4.0	40,698	107.5	77,955	51.5	51,242	—
5	155,371	23.4	93,665	4.9	28,403	34.7	67,694	52.0	49,070	—
6	161,287	△ 5.9	101,444	△ 14.4	23,748	△ 14.8	63,407	3.2	51,295	—
7	178,849	△ 1.1	109,836	△ 8.6	27,957	29.9	84,791	29.3	57,001	—
8	163,627	△ 10.4	96,034	△ 25.7	27,010	△ 24.6	80,197	△ 2.3	49,324	—
9	160,176	△ 17.9	106,413	△ 24.8	24,117	△ 22.7	72,290	△ 10.1	54,464	—
10	195,527	△ 7.3	129,595	△ 17.3	37,818	△ 10.4	95,606	5.1	64,606	—
11	202,221	△ 3.6	140,844	△ 14.2	39,761	7.5	99,295	3.6	66,298	—
12	190,907	3.3	116,955	△ 12.1	23,173	14.0	77,396	14.9	63,362	—
令和4.1	156,408	6.5	88,892	△ 13.3	22,604	30.6	64,673	29.3	53,029	—
2	139,121	△ 8.9	79,294	△ 26.0	20,384	16.5	58,770	7.9	48,192	—
3	181,738	△ 7.6	106,123	△ 19.7	22,605	5.7	77,058	5.5	64,148	—
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター									

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



統計調査から

【中山間地農業を支えるスマート農業技術の可能性】

農林水産省では、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した「スマート農業」技術を実際に生産現場に導入し、技術実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにすることを目的とする「スマート農業実証プロジェクト」を、令和元年度から展開している。

一方、中山間地域では、高齢化と人手不足から、集落営農法人等地域農業を支える「担い手」が抱える圃場面積が増えており、省力と効率化が重要課題となっている。

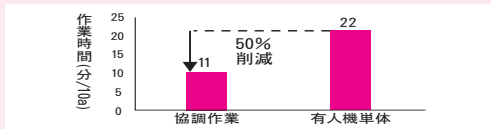
こうした中、伊那市にある農事組合法人田原が長野県や伊那市、クボタなどと構成する信州伊那谷スマート農業実証コンソーシアムは、2019年度の「スマート農業実証プロジェクト」で、中山間地農業を支える集落営農におけるスマート農業技術を駆使した先進的水田複合経営の実証事業を行い、1. 自動運転トラクターの無人機と有人機との隣接圃場での耕起、2. 自動直進田植え機、3. 自動給水栓（WATARAS）による遠隔地からの水管理、4. マルチローターによる農薬や肥料の散布、5. ドローンによる生育状況の空撮と画像解析、6. ラジコン草刈り機による畦畔管理、7. 収量コンバインと乾燥機との連動などを課題として、その実証結果を公表している。

これによると、1では、導入費用の問題は大きいにしても、作業時間削減効果が見られ、3や4、6などでも作業時間の短縮や費用削減効果があったという。（下図参照）

2 導入技術の効果

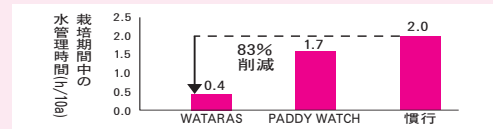
自動運転トラクタ

- 自動運転トラクタと有人機を用い、1人2台使用による代かき（荒代かき）協調作業を実施した。有人機に比べ、作業時間は50%削減された。



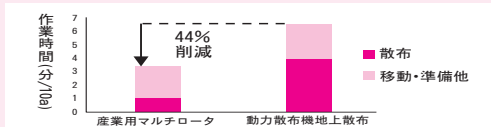
自動水管理

- 自動給水栓（WATARAS）導入区（297a、28筆）は慣行区（307a、28筆）と比べ、栽培期間中の水管理時間が83%削減された。



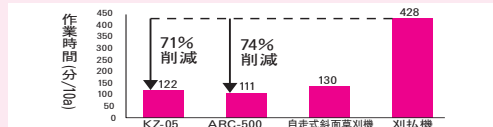
マルチローターによる雑草・害虫防除

- 斑点米カメムシ防除において、慣行の散布方法（背負い式動力散布機）に比べ、作業時間が44%削減された。



リモコン式草刈機

- リモコン式草刈機2機種は、扱機に比べ、70%以上削減された。



資料：農林水産省「スマート農業プロジェクトパンフレット2020（農）田原（長野県伊那市）」